

# 昭和六十年 度 陵墓 関係 調査 概要

## 陵 墓 調 査 室

### 調査の全容

古代の高塚式陵墓と、埋蔵文化財包蔵地内にある陵墓の営繕土木工事実施にあたり、当調査室は、各陵墓監区の協力を得て、施工区域の遺物の有無確認のためと、工法決定に資するため事前に事前調査や立会調査を行っている。昭和六十年 度には次の各陵墓地における工事箇所 調査を実施し、遺構遺物の保存に万事を期した。

また本年 度は京都市内三箇所 所で石塔文献調査を行った。

#### 〔事前調査〕

一、狭木之寺間陵（奈良市山陵町）整備工事区域の調査（畝傍監区 九  
月実施）

担当 飯倉晴武・福尾正彦・山中弘夫・松岡和男・中村直嗣・山本忠  
浩・中村修也

#### 〔立会調査〕

二、高阜陵（京都府向日市寺戸町大牧）焼却炉設置箇所 調査（桃山監  
区 六月実施）

担当 湯川博正

三、河内磯長中尾陵（大阪府南河内郡太子町大字太子）駐車場整備工事  
箇所 調査（古市監区 七月実施）

担当 古沢寿一・大平斉

四、真仁親王墓（京都市東山区三十三間堂廻り町）石塔組直しに伴う調  
査（月輪監区 七月実施）

担当 北野聖史・曾田誠二・遠池良逸

五、笠間山陵（奈良県宇陀郡榛原町大字笠間）鳥居建替工事箇所 調査

（畝傍監区 十 月十一月実施）  
担当 芳村章雄

六、山辺道勾岡上陵（奈良県天理市柳本町）鳥居建替工事箇所 調査  
（畝傍監区 十一月実施）

担当 梅森康史

七、竈山墓（和歌山県和歌山市和田）鳥居建替工事箇所（古市監区 十一月実施）

担当 塩野孝臣・中野順治

八、桃山陵墓地（京都市伏見区桃山町古城山）隣接橘女子高校進入路案内標識設置箇所の調査（桃山監区 十二月実施）

担当 中川幸延

九、伏見松林院陵（京都市伏見区丹後町）鳥居建替工事箇所の調査（桃山監区 十二月実施）

担当 北川秀樹

一〇、泉山陵墓地（京都市東山区今熊野泉山町）崖地防災整備工事関係箇所の調査（月輪監区 十二～三月実施）

担当 藤井良章・北野聖史・曾田誠二・竹村哲也・遠池良逸

一一、畝傍山東北陵（奈良県橿原市）巡回路木橋改修工事箇所の調査（畝傍監区 一月実施）

担当 中野雅之

一二、狭木之寺間陵（奈良市山陵町）整備工事箇所の調査（畝傍監区 一～三月実施）

担当 中村直嗣・山本忠浩

一三、片丘馬坂陵（奈良県北葛城郡王寺町本町）拝所整備工事箇所の調査（畝傍監区 二～三月実施）

担当 前川勲

一四、百舌鳥耳原中陵陪冢い号（大阪府堺市大仙町）外構柵取設工事箇所の調査（古市監区 二～三月実施）

担当 富賀武・真銅慶一・木林成嘉

一五、北白河陵（京都市左京区北白川追分町）神楽岡部事務所水道管改修工事箇所の調査（月輪監区 二～三月実施）

担当 大藪健司

一六、中尾陵（京都市東山区今熊野宝蔵町）見張所改修等工事箇所の調査（月輪監区 三月実施）

担当 北野聖史・曾田誠二・遠池良逸

一七、檜隈坂合陵（奈良県高市郡明日香村大字平田）駐車場整備工事箇所の調査（畝傍監区 三月実施）

担当 久保俊郎

一八、後宮塚陵墓参考地（京都市伏見区竹田小屋ノ内町）盛土整備工事箇所の調査（桃山監区 三月実施）

担当 舟瀬利昭

一九、泉山陵墓地崖地防災整備工事に伴う残土処理予定地の調査（月輪監区 九月実施）

担当 椋本武・藤林幸祐・曾田誠二

以上の調査のうち、事前調査は当調査室員と所管陵墓監区の調査担当職員とで調査を行い、立会調査等は当調査室の指示のもとに、所管陵墓

監区の調査担当職員が行った。事前調査においては、関西大学名誉教授末永雅雄氏、奈良国立文化財研究所長坪井清足氏、建設省土木研究所砂防部長藤田寿雄氏、奈良教育大学教授梅田甲子郎氏に現地検分を依頼し、地質、遺構、保存工法について、それぞれ指導を受けた。また各工事は調査結果に基づいて、当庁京都事務所工務課が遺構・遺物の保存に留意して施工した。

一の狭木之寺間陵の整備工事に伴う事前調査は、外堤内法護岸箇所と外堤内法石積箇所及び樋門・樋管改修箇所、人止柵改修箇所の調査である。外堤内法裾部分の調査では比較的浅い位置で地山を確認した。東渡り土堤より北側では葺石も礫群も認められないが、南側では裾の部分に一部その可能性を残している。東渡り土堤南斜面において拳大の礫からなる葺石を確認した。現在の裾から約三メートルなかに入り込む位置である。平坦面では地山上に盛土した状態が認められた。なお、詳細は後掲のとおりである。

四〇七、九、一一、一三、一五、一六は元の設置箇所と同じ場所を掘り返しただけであり、遺構遺物はなかった。二、三、八、一〇、一四、一七〜一九もすべて遺構遺物ともなかった。

石塔調査は、京都泉涌寺内の陽光太上天皇妃晴子墓、中和門院藤原前子墓、京都清浄華院内の教法門院藤原宗子以下十一墓については採拓し、京都浄福寺内の光格天皇皇女靈妙心院墓については採拓と実測調査を行った。

(飯倉晴武)

### 狭木之寺間陵整備工事区域の調査

垂仁天皇皇后日葉酢媛命の狭木之寺間陵は、奈良市北郊に位置する前方後円墳である。隣接する成務天皇陵、称徳天皇陵とともに、いわゆる佐紀三陵をなし、佐紀盾列古墳群に属する。本墳の周囲には水濠がめぐっている。西側面から前方部にかけての外堤内法は、経年の波浪による浸食が著しいので、東渡り土堤の樋門・樋管改修などと併せて、整備工事を行うこととなった。そこで、昭和六十年九月十九日から十月六日にかけて事前発掘調査を実施した。この間、考古学・地質学および土木工学の専門家の現地検分を願い、各々の立場からの指導・助言を賜った。また、昭和六十一年一月十六日から三月三十一日までの掘削時には、後円部のほぼ背後にあたる外堤内法崩壊箇所の石積擁壁工事、拝所裏石積改修工事とともに、立会調査を行った。事前調査を中心に、両者の調査結果の概要を述べることにする。

事前調査に際しては、外堤内法護岸箇所に幅二〜三メートル、長さ四〜六メートルのトレンチを一〇本、また、樋門・樋管改修箇所にも後述するような規模のトレンチを二本設けて、調査を進めた(第1図)。

調査地における標準的な層序は、次の通りである。

I層 表土。黒色腐植土。一部を除いてへドロ層の堆積は、ほとんど認められない。